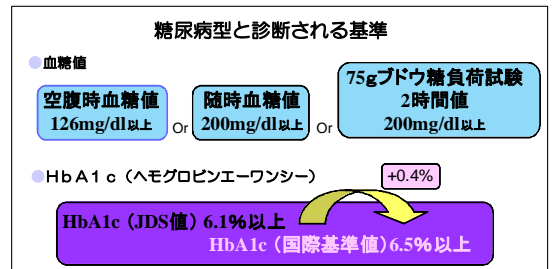




【病気のはなし】 II型糖尿病治療について ～ 早目の治療が大切です ～

★血糖値なぜ上がる？

食事をとると、食事の中の糖が、主に小腸で分解・吸収され血液中に入ります。すると、すい臓からインスリンというホルモンが分泌されます。このインスリンが、肝臓からの糖の放出を抑え、筋肉や脂肪などの組織に糖を取り込ませて、血糖値を下げます。体質やストレス、過食、運動不足などによって、インスリンの分泌が遅れたり、少なくなったり、また働きが悪くなることで、血糖値が下がらなくなり、高血糖状態がつづくようになるのがII型糖尿病です。糖尿病の診断で重要なのは、血糖値とHbA1c(ヘモグロビンエーワンシー)という値です。血糖値は、血液中のブドウ糖の濃度で、健康な人では、空腹時で80mg/dl前後といわれています。HbA1c(ヘモグロビンエーワンシー)は糖化ヘモグロビンの割合(%)を表していて、だいたい過去1-2ヶ月間の血糖値の状態を反映します。最近このHbA1c(ヘモグロビンエーワンシー)の数値が国際標準化され、これまで使われていた数値(JDS値)から0.4%加えたものが使われるようになってきていますのでご注意ください。



75gブドウ糖負荷試験：75gのブドウ糖を飲んで1時間後、2時間後に採血をし、血糖値を測定する試験

★糖尿病はなぜこわい？

II型糖尿病の初期には、インスリン分泌の遅れによって、まず食後の血糖値が高くなります。この状態を繰り返すことにより、だんだんとインスリンの分泌量も減ってきて、やがて空腹時の血糖値も上昇してきます。糖尿病の合併症というと、神経障害や網膜症、腎症などが有名ですが、脳卒中や心筋梗塞といった大血管障害の発生率も上昇させることがわかっています。とくに食後の血糖値の上昇が、この大血管障害の発生に関わりが深いといわれています。糖尿病の初期は自覚症状がほとんどありませんので、脳卒中や心筋梗塞を起こして初めて糖尿病が発覚することも少なくありません。目にはみえないところで知らず知らずに進行していくのが糖尿病の怖いところです。

★糖尿病の治療は？

II型糖尿病治療の基本は、食事と運動療法です。それでも下がらない場合にお薬が使用されます。II型糖尿病の治療に使われるお薬(内服薬)は、①インスリンの分泌を促進する薬 ②インスリンの働きを強める薬 ③食後の血糖値の上昇を緩やかにする薬 と大きく3つに分けられます。これらの薬を組み合わせることで血糖値を改善し、合併症の発生を防ぐことが糖尿病治療の目的です。しかし食事と運動療法がともなっていないと、体重が増えたり、薬が効かなくなったりとさまざまな弊害がでてきます。薬はあくまで補助的なものであることを忘れないでください。(薬剤師 平地珠美)

【症状と病気】 ～ 胸がドッキとしたら ～

『脈が一瞬ドッキとする』『脈が飛ぶ』『脈が3つに1つ飛ぶ』といったことは大抵のひとが過去に少なくとも一度は感じたことがあるだろうと思います。これは期外収縮(きがいしゅうしゅく)と云われるもので本来、規則的に打っているはずの心臓の拍動が一拍だけ早く打つことによって、その拍動が脈として感じられなくなり、脈の途切れを感じたり、途切れた後の拍動を強く感じて“ドッキとする”こととなります。このような期外収縮は心臓に病気を持つ人だけではなく、病気を持たない人でも起こるものです。健康成人で不整脈が全くない人はいないといってもよい程、不整脈は一般的なものです。しかし検診などで不整脈を指摘されたとき、脈の不整や激しい動悸を感じたときは病院を受診しましょう。それがどんな不整脈なのか、危険な不整脈に発展するものでないか、治療を要するものなのか、などをよく聞いて適切な指導を受けることが大切です。(島崎)



尿けんさ Q&A ② ～患者さんによく聞かれること～

Q1 尿が濁っているけど大丈夫？

A. 尿の出始め直後から濁りのある尿には、細菌が混じっています。腎炎や膀胱炎など泌尿器が細菌に感染しているときに見られます。

Q2 尿が泡立つけど大丈夫？

A. 蛋白が出ている場合や勢いよく取った場合泡立ちます。健康な人でも疲労やストレスが原因で蛋白が出ることがあります。持続して蛋白が出る場合は気をつけましょう。

Q3 尿の色がいつもより濃い気がするけど大丈夫？

A. 健康な尿は薄い黄色から麦わら色をしています。トイレを我慢すると尿は濃縮され色が濃くなります。膀胱炎の原因にもなるのでこまめにトイレに行きましょう。

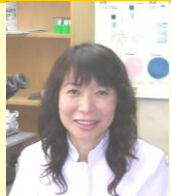
尿は環境や体調の影響を受けやすい、とてもデリケートなものです。尿をチェックするだけでもからだがかちゃんと機能しているか、健康に保たれているかが分かります。トイレをする際いつもと変わりがなければ日頃から気にかけてみましょう。(下岡)



＜わが検査室のスタッフ紹介＞ 患者さまの健康のため、'確かな知識と技術' をモットーに頑張っています



血液検査
前田祐仁



細菌/輸血検査
加用清美



生理検査
島崎志保



生化/血清検査
下岡明子



生化/生理検査
山沖亜衣



外来支援
小松茂久

【検査ぶちニュース】

★当院の検査項目説明書の新しいものを作成しました。糖尿病、脂質異常症、貧血、心疾患の検査と病気のことを詳しく説明しています。ご自由にお取り、ご覧下さい。